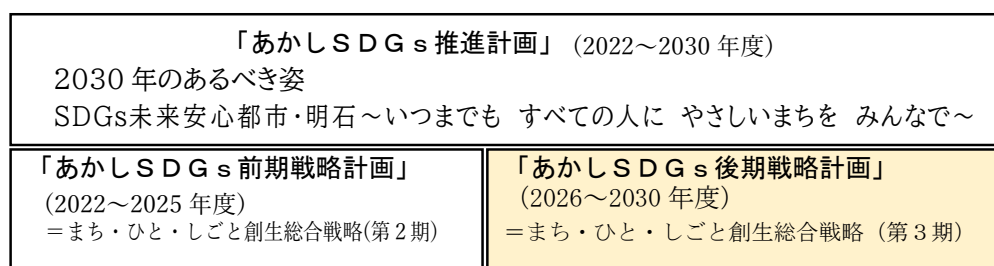


あかしSDGs後期戦略計画 骨子案

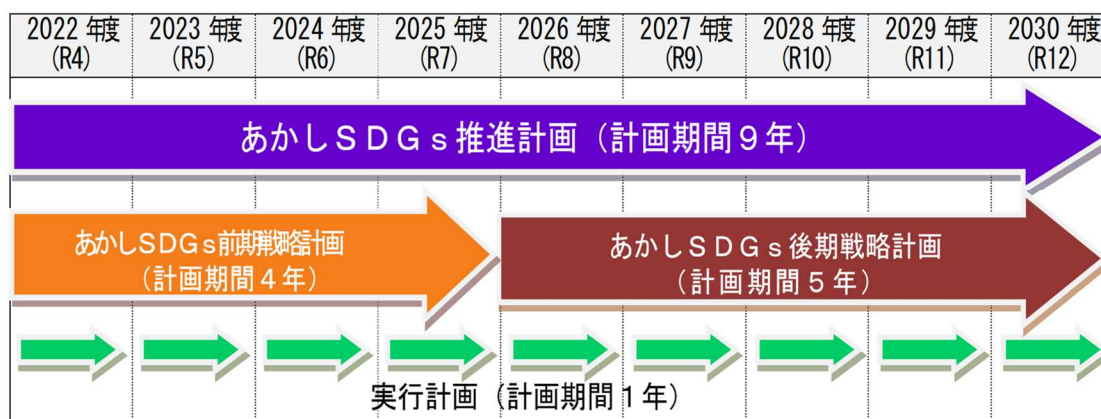
1 計画の位置付け

- ・あかしSDGs推進計画(第6次明石市長期総合計画)(以下、「推進計画」という。)に基づき 2030 年のあるべき姿「SDGs未来安心都市・明石」の実現に向けた、まちづくりの戦略を定める中期計画です。
- ・推進計画に定めるまちづくりにおける経済・社会・環境の三側面の方向性に基づき、施策展開の柱と対応するSDGsのゴールを定めるとともに、優先的に取り組む具体的な施策を定めます。
- ・まちづくりの推進状況を図るため、基本目標として「SDGs未来安心都市・明石」に関する数値目標と各施策展開に関する重要業績評価指標(KPI)を定めます。
- ・推進計画の方向性に基づき、本計画と各分野の施策展開や具体的な取組を定める個別計画との整合を図ります。本計画の施策展開の柱ごとに、関連する個別計画を示します。
- ・計画の推進に当たり、毎年度、取組の方針と具体的に実施する事務事業を定めた実行計画を策定します。
- ・SDGsを反映した持続可能なまちづくりは少子高齢化に歯止めをかけ、人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来に渡って成長力を確保することを目指す地方創生につながるものです。本計画は、国のまち・ひと・しごと創生法に基づく明石市まち・人・しごと創生総合戦略(第3期)に位置づけます。



2 計画期間

- ・推進計画の9年間の計画期間を前期と後期に分け、前期戦略計画が「2022 年度から2025年度」の4年間で、後期戦略計画は「2026年度～2030 年度」の5年間とします。



3 まちづくりの数値目標

・後期戦略計画では、計画最終年である2030年度の目標を定める必要があるため、2030 年度の数値目標を定めている推進計画と同じ、住みやすいと思う人の割合:100%と、人口目標の30万人の維持を目標として設定します。

2030年度の目標

① 住みやすいと思う人の割合 100%

(2025年:91.0%)

② 総人口 30万人の維持

(2024年10月1日現在:306,453 人)

4 施策展開の方針

(1) 施策展開の5つの柱

1	豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める
2	笑顔あふれる共生社会をつくる
3	こどもの育ちをまちのみんなで支える
4	安全・安心を支える生活基盤を強化する
5	まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す

(2) 展開の方向

1	脱炭素社会の実現 (地球環境)
	循環型社会の実現 (ごみの減量)(5R)
	自然環境の保全と活用 (環境保全)(生物多様性)
2	支え合う地域づくり (地域コミュニティ・福祉)(生涯学習)
	自分らしく生きることができる社会づくり (高齢者)(障害者)(ジェンダー・LGBTQ+／SOGIE)(人権)
	健康・長寿の推進 (健康)(医療)(スポーツ)

3	安心して子育てができる環境の整備 (妊娠・出産支援)(子育て支援)(待機児童対策)(放課後児童クラブ)
	一人ひとりに応じた質の高い教育の推進 (教育環境)(学力・体力)(豊かな心)(地域ぐるみ)
	こども・若者への状況に応じた適切な支援 (児童虐待防止)(貧困対策)(養育支援)(居場所)
4	防災・感染症対策の強化 (防災)(感染症対策)
	日常の安全・安心の確保 (消防・救急)(防犯)(交通安全)
	誰もが利用しやすく安全で強靱な都市基盤の整備 (バリアフリー)(均衡ある発展)(公共交通)(道路)(住宅)(公園)(水道)(下水道)
5	地域産業の振興 (農水産業)(商工業)(中小企業)(雇用環境)
	豊かな心を育む文化・芸術の推進 (本のまち)(文化・芸術・歴史)(景観)
	まちの魅力を生かした賑わいの創出 (シティセールス)(観光)

(3) 計画の推進

1	効率的・効果的な行政運営	
	①	市民目線のまちづくり (タウンミーティング)(民間提案制度)(他自治体・企業・大学との連携)(SDGsの啓発)
		①-1 対話と共創
		①-2 SDGsの更なる推進
	②	持続可能で自立した行政経営 (組織・人員体制)(DX)(権限移譲)(新庁舎の整備)(歳入・歳出の適正化)(施設配置の適正化)
		②-1 持続可能な公共サービス体制の実現
		②-2 自治体DXの更なる推進
	②-3	健全財政の推進
2	計画の進行管理	